

基本情報		
1.所属	1-1.組織名	Biologging Solutions Inc.
	1-2.部署名	本社
	1-3.組織の住所	東京都中野区本町二丁目1-8 YS Garden 409号
2.担当者	2-1.役職	代表取締役
	2-2.氏名	小泉拓也
3.連絡先	3-1.電話	
	3-2.メールアドレス	office@biologging-solutions.com
4.関連ホームページ	4-1.HP①	https://biologging-solutions.com/solar-lte-gps-logger/
	4-2.HP②	https://biologging-solutions.com/logglaw-c7/
	4-3.HP③	https://biologging-solutions.com/dataloggers/lte-ctd-do-logger/
支援内容		
5.支援領域	5-1.選択式	☒ 資源評価・管理に向けた支援 ☐ 水産業の成長産業化に向けた支援 ☐ 漁村の活性化に向けた支援 ☒ 省人化・省力化に向けた支援 ☐ その他
	5-2.その他の詳細	
6.デジタル化支援の可否		☒ 可 ☐ 不可
7.活動・連携エリア	7-1.エリア情報	☒ 全国 ☐ 北海道地区 ☐ 東北地区 ☐ 関東地区 ☐ 中部地区 ☐ 近畿地区 ☐ 中国地区 ☐ 四国地区 ☐ 九州地区 ☐ 沖縄地区
	7-2.具体的なエリア情報	瀬戸内海に面する県、全国の内水面等、その他全国
提供可能な支援内容		
8.提供可能な分野	8-1.選択式	☒ 資源管理 ☐ 生産（遠洋漁業） ☒ 生産（沿岸漁業） ☐ 生産（沖合漁業） ☐ 生産（養殖業） ☐ 加工 ☐ 流通 ☐ 消費 ☐ 観光 ☐ 海業 ☐ その他
	8-2.その他の詳細	
9.支援方法	9-1.選択式	☒ デジタル化領域におけるコンサルティングの提供 ☒ デジタル化に関する商品やサービスの提供 ☒ 共同研究や実証に関する相談 ☐ その他
	9-2.その他の詳細	
10.支援方法で「デジタル化に関する商品やサービスの提供」を選択した場合の詳細	10-1.選択式	☒ 資源評価・管理に関するデジタル化支援 ☐ 水産業の成長産業化に関するデジタル化支援 ☐ 漁村の活性化に関するデジタル化支援 ☒ その他
	10-2.その他の詳細	鳥獣害対策
11.支援内容の詳細①	11-1.支援タイトル	カワウ接近通報システム
	11-2.課題解決の方向性	バイオリギング手法を用いたカワウの自動通報システム。カワウがいつ河川に来ているかわからないという課題を解決。
	11-3.具体的な支援内容	無線通信搭載GPSロガーを取り付けたカワウがアユの放流場所に近づくとそれをGPSロガーが検知し、追い払い担当者の携帯端末等にアラートを通知。担当者のカワウ対策に係る労力を大幅に削減することが可能。
	11-4.料金モデル	
12.支援内容の詳細②	12-1.支援タイトル	カワウ自動追払システム
	12-2.解決の方向性	バイオリギング手法とドローンを使ったカワウの追い払いシステム。カワウの追い払い活動における労力の削減。
	12-3.具体的な支援内容	無線通信搭載GPSロガーを取り付けたカワウがアユの放流場所に近づくとそれをGPSロガーが感知し、ドローンにカワウの位置情報を発信する。その後、ドローンは受け取ったカワウの位置まで自動で飛行し、追い払いを行う。このシステムを導入するとカワウの食害対策に人が介在することがなくなり、省人化に寄与することが可能である。
	12-4.料金モデル	
13.支援内容の詳細③	13-1.支援タイトル	クラウド通信機能搭載・漁業向けCTD-DOロガー
	13-2.課題解決の方向性	魚網が思った通りの深度帯や水温帯を引けていることの可視化
	13-3.具体的な支援内容	魚網に無線通信機能搭載CTD-DOロガーを装着し、魚網を引いて漁をしてもらう。ロガーが水中にある時は環境情報や深度情報等をロガー内に保存し、それが空中に出ると自動でクラウドシステムへデータを無線で送信する。漁業者はiPadアプリで自分が引いた魚網の水深帯や環境情報を閲覧することができる。
	13-4.料金モデル	
14.支援内容の詳細④	14-1.支援タイトル	半リアルタイム魚群追跡システム
	14-2.課題解決の方向性	バイオリギング手法を用いたカツオマグロ等の魚群追跡システム
	14-3.具体的な支援内容	バイオリギング手法である衛星通信搭載データロガーをカツオやマグロに装着し、一定期間後に切り離し、海面に浮上させたあと、位置情報をクラウドシステムに送信する。クラウドシステムから漁業者にその位置情報が送られることで、漁業者は魚群の位置を半リアルタイムで知ることが可能であるため、効率的な漁業を行うことが可能である。

	14-4.料金モデル	
15.支援内容の詳細⑤	15-1.支援タイトル	
	15-2.課題解決の方向性	
	15-3.具体的な支援内容	
	15-4.料金モデル	
支援実績		
16.支援実績例①	16-1.時期	2020年～
	16-2.場所	千葉県、大阪湾等
	16-3.支援した対象者	水産資源研究所
	16-4.その他関係団体	
	16-5.提供した支援内容	クラウド通信機能搭載・漁業向けCTD-DOロガー
	16-6.支援効果	貧酸素水塊等のデータを集めることができおり、漁場の選定に活用されている。
	16-7.概算の経費	
17.支援実績例②	17-1.時期	
	17-2.場所	
	17-3.支援した対象者	
	17-4.その他関係団体	
	17-5.提供した支援内容	
	17-6.支援効果	
	17-7.概算の経費	
18.支援実績例③	18-1.時期	
	18-2.場所	
	18-3.支援した対象者	
	18-4.その他関係団体	
	18-5.提供した支援内容	
	18-6.支援効果	
	18-7.概算の経費	
19.支援実績例④	19-1.時期	
	19-2.場所	
	19-3.支援した対象者	
	19-4.他関係団体	
	19-5.提供した支援内容	
	19-6.支援効果	
	19-7.概算の経費	
20.支援実績例⑤	20-1.時期	
	20-2.場所	
	20-3.支援した対象者	
	20-4.その他関係団体	
	20-5.提供した支援内容	
	20-6.支援効果	
	20-7.概算の経費	
その他		
21.その他	備考・アピール事項等	当社は、回路設計、ソフトウェア設計、機構設計、アプリ設計の技術者を有しており、柔軟な開発が可能です。
水産デジタル人材バンクへの登録の可否		
22.水産デジタル人材バンクへの登録の可否		☒ 可 ☐ 不可